

# わ だ ち だ

株式会社 西村交益社  
やまぶきカード会員情報誌

Vol.07



2020  
AUTUMN  
WINTER

お葬儀のことから  
その後のことまで  
なんでもお気軽にご相談ください。



もしもの時は  
24時間365日  
日本全国どこからでも

☎ 0120-62-5909

公衆電話・携帯対応



やまぶきホール



さくらホール



もみじホール

## つるぎ会館

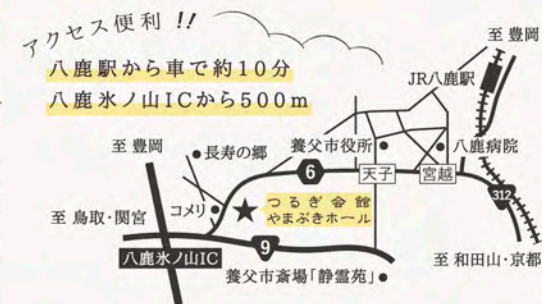
株式会社 西村交益社

ホールのご予約・お問い合わせは

☎ 0120-62-5909 [つるぎ会館]

〒667-0044 兵庫県養父市八鹿町国木133-1

www.koekisha.info



スタッフ募集

パート・アルバイト 週1日1時間から  
正社員も同時募集中! まずは上記までお電話ください。(担当/岡本)

インフォメーション

協力店ショップガイド

おしえて！戌亥先生

音楽室だより／中嶋由紀

花とブルース／伊藤雄大

ブラジル滞在記／密祐快

日本玩具博物館特別展のご案内

日本玩具博物館を訪ねて

博物館は面白い

## 「わだち」に込めた思い

(株)西村交益社つるぎ会館

ある日、会館を訪ねて来られたご夫婦。

「自分達の葬儀の事を相談しておきたい」との事でした。

ご主人が困難な病気と闘っておられる事、二人の娘さんは、それぞれ嫁がれて、遠くにお住まいであること…など、ご事情をお聞きしてから

プランの内容や式の流れ、費用など提案しました。

話が終わり、コーヒーをお出しすると、

「よしっ、これで終(しま)いは、決めた。あとはこれからどう精一杯生きるか。コーヒーが特別美味しく感じるわ。」とおっしゃいました。

そのことがずっと胸の奥にあり、当社にその「これからの人生」を少しでもサポートできる事がないかとの思いから、会員カードを作ったのです。まだまだ発展途上ではありますが、もっとお得で便利なカードにしていきたいと思っております。

「わだち」は、車の通ったあとに残る車輪の跡の事です。

古代ローマ遺跡を旅した時、何千年も昔の馬車の跡がくっきりと残っていました。会員の皆様が歩いてこられた、尊い人生がそこに重なるように思います。

会員情報誌の名前を「わだち」にしたのはその思いがあったからです。

「今日という日は、残りの人生の第一日目である」

私達のこの「わだち」が少しでもお役にたてることを願って。

# 博物館は面白い

「博物館」と書いてある建物を見ると、フラフラ〜と入ってしまいます。「テーマ」があって、それに関するモノを集め、並べ、説明がしてある、その空間は魅力的です。

日本には4000館を超える博物館施設が存在するといわれますが、そこには歴史博物館や郷土資料館、美術館、科学館、そして動物園、水族館、植物園など、様々な種類の博物館が含まれています。

学生時代「日本における最初の博物館は、奈良にあり〜」と、教授が叫んだのをきっかけに、ゼミの皆で正倉院展に行きました。人生の先輩方が団体で押し寄せる中、「じっくり見ることが出来なかった」思い出しがあります。また、自分とは関係のない学科の研修旅行にこっそり参加し、まだ団体旅行しか出来なかった中国に行き、紫禁城故宮博物院や秦始皇兵馬俑博物館を巡りました。「悠久の歴史」を感じつつ、妄想で目が回りそうでした。それから四十年余り、博物館のみならず、地方のマニアックな資料館や、あやしげな宝物館などを見つけたら、フラフラ〜と入ってしまっています。「よくもこれだけ集めたなあ。」もあれば「えっ？これだけ？」もあり、その違いも面白いのです。

そんな私が、機会があればぜひ行ってみたい博物館ですが、福岡市の【不思議博物館】：HPを見ただけで興味をそそられます。

富士宮市の【奇石博物館】：下校時、男子がランドセルに石を詰めていた謎が解けるかも知れません。

浜松市の【楽器博物館】：YAMAHAの博物館かと思いきや、浜松市立。移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」や、サロンコンサート・ワークショップなど沢山の企画があります。

日本橋の【ボタンの博物館】：「え？服についているボタンが？」これが意外と侮れないです。宝石のような美しいボタンや歴史的に貴重なボタンなど、約五千点が収蔵されています。

「博物館って敷居が高い」とか「勉強する場所でしょ」と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。並べ方に係の方の気合を感じたり、名物学芸員さんの説明にぐっときたり、なんでこんな展示が？と謎だらけのまま閉館時間とか：不思議で楽しい博物館が大好きです。





# 日本玩具博物館

兵庫県姫路市

姫路城から約10km。ここ日本玩具博物館には白壁の土蔵6棟の中に日本の玩具や人形、伝統手芸のちりめん細工、また世界160カ国の玩具や人形が展示されている。その数なんと約5000点と驚きだ。

この博物館では、まず、日本の玩具の歴史に触れることができる。明治・大正・昭和から現代に到るまで、それぞれの時代背景が、玩具から伝わってくる。特にモチーフや素材の変化は興味深かった。紙や竹といった天然素材を使った郷土玩具に始まりブリキ、セルロイド、大戦下における材料統制、プラスチック素材による玩具の大量生産。そして現代のコンピュータゲームにアイボなど。玩具から透けて見える歴史に、日本人としてのアイデンティティを感じた。

ここを訪れる人たちの年齢層は幅広い。また2世代3世代で来ても楽しめる場所ということも珍しい。大人は懐かしさに触れ、小さなお子様は、館内に併設されているおもちゃに触れて遊べるコーナーで、木製玩具に夢中になれる。緑が豊かな中庭も素敵で、一日中過ごせそうなほど、居心地の良い博物館だった。

館内を奥へと進むと、郷土玩具や世界中の玩具なども鑑賞できる。先進国の玩具のみならず小さな国の玩具の世界にも触れること

ができる。デザイン的にも面白いもので溢れ、玩具を通して世界旅行でもしている気分だった。

この博物館の歴史は古い。現館長・井上重義が、1963年、一冊の本との出会いをきっかけに、子どもに関わる文化遺産が失われていく状況を知り、全国各地の郷土玩具の収集を始め、1974年に自宅の一部を展示室として公開したことから始まる。そこから玩具が住処を広げるように、建て増しを繰り返し、今の形になったという。郷土玩具を守るといふこの博物館の思いは、阪神淡路大震災後にも注目を浴びた。家屋の倒壊や移転などのため行き場所を失った節句飾りについて、新聞を通して、引き取りを呼びかけ、120件に及ぶ人形たちがこの博物館へときたという。

ここ最近世間では、ミニマリストといったモノを極限まで減らしシンプルに暮らす人たちも増えている。確かにそれはそれで素晴らしいが、大切なモノさえも、その流行と一緒にいつの間にか失われていくのではないかと、この博物館にきて感じてしまった。この博物館では過去の文化が今でも息をしている。美しく展示され、そのモノたちは本当に喜んでいるように見えた。

色々な角度から玩具を切り取った魅力的な企画展も随時開催されているので、ぜひ世代を超えて、この玩具の世界に足を運んでほしい。

# ブラジル滞在記

## 初めての経験

五月二十三日のお昼前、かつてブラジルに赴任していた時、特に親しくしていた日系三世の友人からLINE電話があった。彼は優秀で米国のハーバード大学卒。日本語も英語もイタリヤ語も堪能な青年です。

その電話は、現地時間の二十二日に彼の父が亡くなったという訃報でした。日本とブラジルは十二時間の時差があるので、日本のお昼はブラジルでは前日の真夜中です。

「コロナウイルスの感染で亡くなったのかい？」と尋ねると、「突然の心臓発作で亡くなりました。」と答えました。そういえば私が赴任していた頃から、お父さんは、心臓を患っていたと思ひ出しました。

今、ブラジルはコロナウイルスの感染者数が、米国に次いで八十二万人。死亡者数が四万人(6/18現在)という悪夢のような状況です。人口が東京よりも多い千四百万人都市のサンパウロも最悪な状況なので、市内の店もレストランも閉めていると彼は言いました。

それから九時間後、日本は夜の九時。再び携帯が鳴って、「十時に病院から搬送されると連絡があった。」と言いました。「了解。その時間に本堂で読経するね。墓地に着いたら電話頂戴ね。」そして十時十五分に電話がまた鳴って、「今到着したよ。でも埋葬の順番待ちで霊園内のペロリオで三十分程待機することに



そんな状況なのに、街は多くの人で溢れていると言います。特にサンパウロ郊外にあるフアベラと呼ばれる貧民街に住む人たちは、食べ物も無く、病気にかかるのはあたり前。路上生活も多く、ウイルス感染死よりも餓死者が増えてきているとも言いました。しかし、死者が出て、葬儀会館(ペロリオ)は、集団感染を防ぐために閉鎖されていて、お坊さんも行けないからお葬式も出来ません。ご遺体は病院から直接お墓に搬送して埋葬するだけと言います。どうしようもない状況に、遺族は我慢するだけ。彼は、「ブラジルは、今こんな状況なので、亡くなった父のために日本でお経をあげてもらえないだろうか。」と言いました。「もちろんいいよ。祈りは、時空を超えて伝わるからね。じゃあ、お墓に搬送されて埋葬される時にお経をあげるから、その時間になったら知らせてね。」と言うと、「わかったよ。とりあえずこれから少し仮眠するね。」と言って彼は、電話を切りました。

なった。」と言うのを聞いて、すぐさま私は叫びました。「じゃ、今から三十分でお葬式をするから、君の携帯をビデオ通話に変えて、お父さんの顔の横に置きなよ。僕はお父さんの顔を見ながら、得度をしてお戒名を授けるし、お経も声を大きくして聞こえるようにするからね。」そう言い、すぐに本堂の外陣に設けた臨時の祭壇に向かって、日本で行う葬儀作法の全てを三十分でやり終えた。「終わったよ。」と彼に告げると、携帯の画面が今度は彼の顔に換わりました。マスクを付けた顔を涙で一杯にして、声を詰まらせ、「ありがとうね。おかげで父も安らかに眠れます。ありがとうね。」と言うのが、精一杯でした。結局、コロナウイルスの感染を気遣って会葬者は全部断わり、父親を送ったのは彼と彼の姉のたった二人だけだったそうです。

今、世界中がインターネットで繋がっていますが、それを利用してのお葬式をしたのは初めての経験です。それも日本からすれば地球の反対側にある、遠く離れたブラジル人のお葬式を日本のお寺でしたのですから。賛否両論があるとは思いますが、こんな非常事態の時にできる精一杯のお葬式でした。

高野山真言宗高照寺(花の寺)名誉住職

密祐快(みつゆうかい)

青年時代に中南米を放浪。放浪中の2年間、グアテマラのインディオ達と暮らす。帰国後、僧侶として、又現代美術作家として各地で活動。高野山の命を受け、南米開教区総監としてブラジルに赴任し、3年間の任務を終え、帰国。



高野山真言宗高照寺

花の寺の「花説法」は有名で、毎年訪れるファンも多い。

兵庫県養父市八鹿町高柳1156 tel.079-662-2865



# 花とブルース

「遅咲きの花、タマアジサイ」



夏が終わる頃になってやっと花を咲かせるアジサイ・玉紫陽花(たまあじさい)をご存知だろうか。東北や岐阜などの涼しい地方に自生しているので、園芸店でしか見かけないかもしれない。

タマアジサイの蕾が膨らみ始めるのが8月下旬になってからで、それまでは驚くほどパツとしない植物だ。葉っぱはゴワゴワで毛羽立ち、枝は直線でおもしろくない。荒れた河川敷なんかには生えていても、気づかないくらい地味。

私の地域で見頃を迎えるのは9月初旬頃。1年のうちにこの時期だけ、タマアジサイは強烈な個性を発揮する。

15センチほどに太った「玉」のような大きな蕾に亀裂が入り、その隙間から3日ほどかけて少しずつ、花がこぼれるように咲く。なんともいえない薄紫色と白い花は、残暑厳しい時期に秋の訪れを感じさせてくれる。西洋

のアジサイとは違って、小さな地味な花なのだが、くす玉が割れるように花が出てくるのも風情があるし、新しい季節を祝福してくれているようにみえなくもない。

タマアジサイの花をみると、農業雑誌の記者をしていた頃に出会った農家の人たちを思い出す。それはもう、たくさん「遅咲きの花」を見た。

丹波市で軟弱野菜をつくる和田さんもそうだった。取材に行くと、「畑の土がふかふかである」ということを、棒を突き刺したり、表面に力カトで跡をつけたり、土をすくいあげたりして、あらゆる方法で表現してくれた。この土こそが、和田さんの人生そのもの、と言って

も過言ではないからだ。  
このあたりは付近が壁土をとる山に囲まれており、畑ももともとはガチガチの粘土質。そのため、野菜をつくる人はほとんどいかなかった。そんな地域で

和田さんがバラの花をつくらうと腹を決めたのは30歳の頃、奥さんが「牛はいや、花がエエ」と言ったからだそうだ。それから毎年、地道に堆肥をすき込んで土をつくり、兵庫県内ではちょっと有名なバラ農家になった。

転機が訪れたのは、40代半ば。地域一帯で基盤整備をすることにになり、せっかくのふかふかの土が、もとの赤土に逆戻りしてしまった。昔のような土に戻そうと牛糞堆肥や高価な菌体資材まで、あらゆるものを試してみたが、なかなかうまくいかない。そんな日々が3年も続いたらしい。

「それが5年前にモミガラを入れたとたん、こんなんでっせ」と、当時79歳だった和田さんが涙を浮かべた。もうバラは辞めてしまったが、モミガラでふかふかになった畑では、日持ちのいい軟弱野菜をつくれるようになり、地域の人たちに野菜の

の講習会を開く「モミガラ先生」として活躍するようになった。70代半ばでひらく花もある。

遅咲きといふかなんというか、新潟のブドウ農家の山田さんも強烈だった。60歳で中国語講座に通い始めたのにも驚いたが、80歳で「桃栗3年だから」とモモを30aも植え、90歳になってようやくブドウの栽培を始めた、たまげるような話が続く。しかも3年前からは、2mの積雪のなかでも枝が折れない「やぐら仕立て」なる技術を考案して、豪雪地帯でのブドウ栽培を普及させようとしていた。その当方で、御年100歳。さすがに、ここまで来ると、ぐうの音も出ない。

「床に伏すまで挑戦」と古希を迎えた稲作農家に宣言されたこともある。ようやく咲いた遅咲きの花は、散ることを知らない。

## 伊藤 雄大 (いとう ゆうだい)

1985年生まれ。大阪府能勢町在住。東京での農業系出版社勤務をへて、能勢町で植木屋に就職。現在は、農業・農家取材・植木屋の3足の草鞋で生きている。

instagram@yudai\_itou



# 音楽室だより



ライブやコンサートのない夏が終わろうとしています。夏特有の、ビールでも飲んでのんびり楽しむか、という緩んだ開放感の中にお客様の前にするのが私の楽しみなのに。

何とも言えずぼっかり穴の空いたような気持ちのまま、秋はシリアスなクラシックシーズンです。本番の緊張感を味わわないまま、秋になってしまふ恐ろしさ。秋が来たからといっても今年も毎年恒例の合唱祭も音楽祭も早くから中止が決定しています。こんな時こそ普段出来ないことをストイックに練習すればいいのと思いつつ。

新型コロナが終息したら、カラオケに行きたい！という方もいらっしゃるでしょうか。歌うだけならお風呂が一番いい気分になれるですが、人前で歌う独特の高揚感は味わえない。例え一緒にいる人達が次の曲を探して聴いていなくても、そこはメンタルで乗り切るとして、単純にやっぱ楽しいですね、歌うのが好きな方(私も含め)には。仕事柄、音楽に関する質問を受けることがよくあります。

「ピアノを練習するならクラシックとジャズのどちらが簡単か」と聞かれた時は思わずのけぞりそうになりました。答えとしては、どっちも難しいところがないようがない。というより、難しいところがずいぶん違うのです。多分フランス料理と和食のどちらを作る方が簡単か、と同じようなもので。どちらにしても、どちらが簡単か答えが出るまで道のりは長く、険しい。うーむ、どうでしょうね、と答えを濁して、答えとさせて頂きました。

まあそれは例外として、おそらく一番よく聞かれるのは「カラオケをうまく歌うにはどうすればよいか」です。あまりに定期的に聞かれるので、その都度一生懸命考えて返事をするうちに、中嶋的いくつかの答えを見つけました。

私音痴だから、とか、リズム感がないから、とか色々と自己申告して下さいますが、今まで色々な方の歌を聴いてほんとに音程を全く取れない人にそうそう出会ったことはないのです。そこは皆さん大丈夫なんです。カラオケはメロディをガイドしてくれるし、わからないところは適当にウロウロと鼻歌のように歌っておけば乗り切れます。試験問題で記憶が曖昧なところに適当な漢字を書いておくようなものです。過ぎてしまえば自分も皆も忘れます。

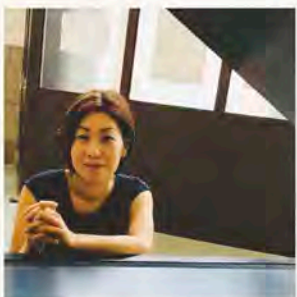
むしろ気をつけるべきはリズムです。これは日本人特有の、リズムというより間合いで休符を感じるこの出来る国民性が影響していると思っっています。つまり「よーおっ！パチン(今みんなの手を打ちました)」みたいな時に誰も、今から四分音符を60で二拍数えたら手を打とう、みたいには認識していない。いくでいくで〜！みたいな空気感でピタリと揃うわけです。これを西洋音楽に知らず知らずに持ち込んでしまうので、だいたいこれくらい休憩しておいて次を歌おうとか、ちょっとづらして歌ってみたらいい感じにうまく聴こえるだろう、と歌ってしまおうと、え？今どこにいるの私？と自分で迷子になる、もしくはそこにいる人達を

(本当にこの人は最後に帰ってこられるだろうか、この歌に)という何とも落ち着かない気持ちにさせてしまいます。これは音程があってもドキドキするので、大きな流れを見失わないという意味のリズム感を意識しておいた方がうまく聞こえます。とくに三拍子に気をつけて。こちらを置いてどんどん進んでいっちゃいます、三拍子。

しかし、考えた末に、カラオケにおいて音程よりリズムより一番大事なのは結局「うまそうな雰囲気」だと思います。足が速そうな雰囲気だけ運動会で走ったら実際は遅かった、というようなことは歌の場合は判明しないし、あくまでもそう聞こえたことが全てですから。その雰囲気というのはどこからくるか。自分の順番が来て、椅子から立ち上がる時から、あくまで自分は歌を歌う人なのだという意識です。出来ればその本物の歌手をイメージしてください。藤あや子さんでも尾崎紀世彦さんでも谷村新司さんでも、その人がその曲を歌う風情を自分で感じて作ってしまうのです。そしてちょっと不幸な幸薄い私、と思っ歌うと歌はどことなく儂げにしんみりと、立派な声量のある張りのある声と思うと姿勢が知らぬ間にぴつしり、という具合に身体が調整して、結果いつもと違う自分の歌が歌えたりする。かもしれない。これではなんだか騙された気がする場合は、やはり練習ですかね。

## 中嶋 由紀 (なかじま ゆき)

ピアニスト。豊岡市在住。地域密着型ミュージシャンとして様々な活動をしている。一般社団法人ワンノート豊岡を立ち上げ、代表理事として地域のコンサートなども企画。三月より事務所兼喫茶店でコーヒーも淹れている。



# おしえて！戌亥先生



祖母は「お釈迦さんが見とりんさるで。」とか  
「阿弥陀さんに参ってくるわ。」とか  
「観音さんを拜んできた。」と言いますが、  
違う仏さまですか？それとも同じですか？

仏教では、たくさんのお名前の仏さまのお名前が出てきますね。大きなお寺に行くと、色々な仏像が安置されていて、「これは〇〇仏、これは〇〇如来」などと書かれていますし、お経を読むと様々な仏さまのお名前が載っています。また、曼荼羅の中には一八七五の仏さまがおられます。

仏さまの種類は、大きく分けると、「如来」「菩薩」「明王」「天部」の4つがあります。お釈迦さまと阿弥陀さまは、ともに悟りの境地を開いた、最高ランクの「如来」です。

釈迦如来（お釈迦さま）は、インドの王子が、衆生の四苦（生・老・病・死）を排除するため修行され悟りを得た如来で、仏教の開祖です。阿弥陀如来（阿弥陀さま）は、四十八の大願を立て、修行の末に如来となった、極楽浄土の主です。他に大日如来・薬師如来などがこのグループに属します。そんな如来の役割は、お釈迦さまのように悟りの境地に到達した証でもありませんが、人々を苦痛や業から救う事も担っています。

観音さまは、まだ悟りの境地に到達していない、如来の次のランクの「菩薩」です。聖観音菩薩（観音さま）は、願いを唱えれば衆生の苦悩に応じて、三十三の姿に身を変え、現世利益を叶えてくれる菩薩です。他に、普賢菩薩・地藏菩薩・弥勒菩薩などがこのグループに属します。菩薩グループには、人々を救うという重要な役目が与えられています。

明王は、如来・菩薩に次ぐ仏さまですが、その役割は仏の教えに従わない者たちを正しく導く事です。道を誤った者

たちを厳しく説き伏せるために髪が激しく逆立ち、牙が生え、形相は憤怒を表すため激しく睨みつける表情をしています。不動明王・金剛夜叉明王・降三世明王などが属します。確かに、像を見ると怖いお顔をしていらっしゃいますね。

天部は仏さまに帰依した古代インドの神々を指しています。その役割は、如来や菩薩など上位にいる仏さま、あるいは仏道そのものを守護する事に尽きます。仏教經典によると多種多様な民族がいた影響で好戦的な性格をした神々が多く、如来の威光に服した神々はその好戦的な部分が認められて守護を誓ったとされているのです。映画の寅さんで有名な帝釈天、持国天・広目天・増長天・多聞天（いわゆる四天王）がこのグループです。

いずれにせよ、道ばたにもトイレにも神様がいます日本ですから、諸仏が様々な役割をもって救ってくれるという考えはしっくりくるのではないのでしょうか。実際に、弥勒菩薩のように、釈迦の入滅後56億7千万年後の未来にこの世界に現れ、人々を救済するという、途方もない時間が関わってくる仏さまもあれば、煩惱を断ち切ったり、恋愛に対して力を貸してくれたりする仏さまもいます。その教えは奥が深く、しっかりと読み解くことが必要な場合もありますが、廃れる事なく、お祖母様の心の拠り所となっているのは、仏さまの側からしても喜ばしいことなのではないでしょうか。



冠婚葬祭コンサルタント

戌亥 正三郎

関西テレビ・毎日放送でもお馴染み、業界第一線で活躍中の冠婚葬祭アドバイザー。終活セミナー、エンディングノートの講師で日本中を駆け回る超多忙な毎日。また、日本のしきたりや食育の講演も多く、全国のセレモニーホールで新人研修にもあたる八面六臂の活躍ぶり。2009年より弊社顧問。

